

平成19年山梨県観光客動態調査結果 概要

調査方法 ~ 全国観光統計基準(日本観光協会)に基づく調査 ~

[観光客数調査] : 787地点

・観光施設への調査
 自然(山岳、湖等)、文化歴史(神社、美術館等)、産業観光(ワイナリー等)、温泉、買い物、イベントなど、県内の観光地や観光施設に対して、来客の利用状況を調査

・データ利用調査

高速道路及び県営有料道路利用状況、道路交通センサス、県警登山者数調査、入湯税調査

[宿泊客数調査] : 1,530施設

・ホテル・旅館、民宿、ペンションなど県内の宿泊施設に対して、宿泊客利用状況を調査

[アンケート調査] : 3,446サンプル

・対面聞き取り方式

・四季毎に、年4回×県内8箇所調査

・主な質問項目：性別、年齢、居住地、旅行目的、消費動向、利用交通機関、満足度等

平成19年における本県観光の動態動向

~ 観光客数・宿泊客数調査結果より ~

・平成19年はNHKの大河ドラマ「風林火山」の放映期間と重なったため、武田氏ゆかりの施設が多い峡中圏域や峡東圏域を中心に観光客数が大きく増加した。観光目的別でも、「文化・歴史」が前年に比べ38.6ポイント(272万人)の増加となった。

・また、富士山の世界遺産登録の機運の盛り上がりに加え、登山シーズンに好天に恵まれたことなどから、昨年に続き富士山への入り込みが増加した。

~ アンケート調査結果より ~

観光客の居住地

・「県外(外国人含む)」観光客が70.3%、「県内」観光客が29.7%

県外観光客の特徴

・(外国人除く)「県外」観光客を都道府県別に分けると、東京(30.0%)、神奈川(17.3%)、静岡(10.0%)、埼玉(9.2%)、長野(7.7%)、東海地方(7.6%)、千葉(7.3%)の順である。

観光客の交通手段

・マイカー(69.2%)が最も多く、鉄道(18.8%)、観光バス(6.1%)、路線(高速)バス(2.8%)の順

同行人数・グループ形態

・同行人数は、「2~3人」(52.6%)が最も多く、次に、「4~5人」(23.1%)の順
 ・グループ形態は、「家族」(62.1%)が最も多く、「知人・友人」(21.4%)の順

旅行目的(複数回答)

・「自然を楽しむ」(26.6%)が最も多く、「温泉」(25.6%)、「行楽」(24.1%)の順
 ・旅行目的を、「県内」「県外」別にみると、「県内観光客」は「祭り・イベント」(38.9%)が最多で、「県外観光客」は「温泉を楽しむ」(31.3%)、「自然を楽しむ」(30.3%)と続く。

観光客の宿泊数

・「1泊」(62.1%)が最も多く、次いで、「2泊」(23.7%)、「3泊」(8.5%)と続いている。

観光客の満足度(複数回答)

・「自然景観」(84.6%)が最も多く、次いで、「温泉」(79.5%)の順

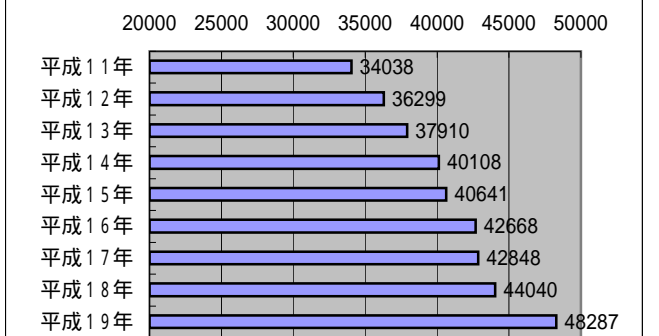
観光客数 48,287千人 (前年比 9.6%の増加)

(平成19年1月~12月)

~平成18年に比べ、約4,247千人の増加~

観光客数 (実人数)	H19年(千人)		H18年(千人)		対前年	
	人数	構成比	人数	構成比	増減	増減率
峡中	12,551	26.0%	9,974	22.6%	2,577千人増	125.8%
峡東	8,196	17.0%	7,549	17.1%	646千人増	108.6%
峡南	2,743	5.7%	2,664	6.1%	79千人増	103.0%
峡北	7,550	15.6%	7,218	16.4%	332千人増	104.6%
富士・東部	17,248	35.7%	16,635	37.8%	613千人増	103.7%
外国人観光客数	881		689		193千人増	128.0%

観光客数推移 単位:千人



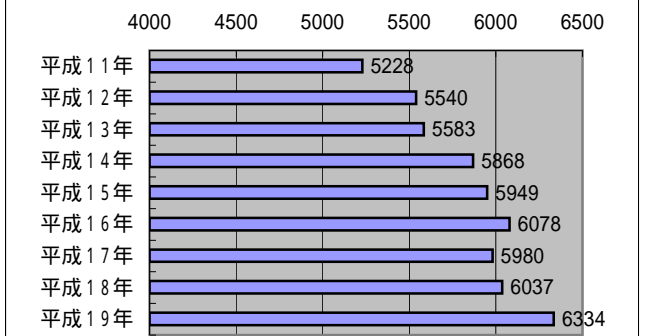
宿泊客数 6,334千人 (前年比 4.9%の増加)

(平成19年1月~12月)

~平成18年に比べ、約297千人の増加~

宿泊客数 (実人数)	H19年(千人)		H18年(千人)		対前年	
	人数	構成比	人数	構成比	増減	増減率
峡中	673	10.6%	633	10.4%	40千人増	106.3%
峡東	1,168	18.4%	1,102	18.3%	66千人増	106.0%
峡南	299	4.7%	296	4.9%	2千人増	100.7%
峡北	780	12.3%	735	12.2%	46千人増	106.2%
富士・東部	3,414	53.9%	3,270	54.2%	143千人増	104.4%
外国人宿泊客数	213		126		87千人増	168.8%

宿泊客数推移 単位:千人



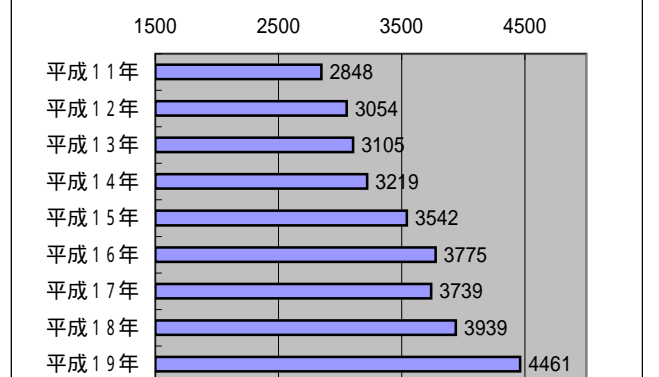
観光消費額 4,461億円 (前年比 13.2%の増加)

(平成19年1月~12月)

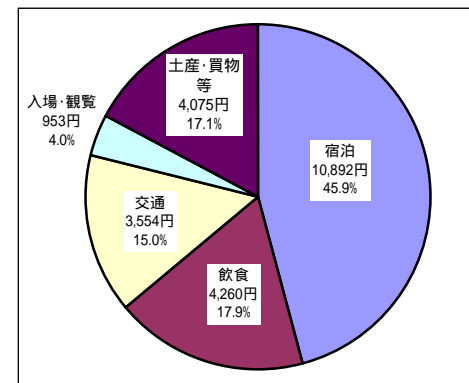
~平成18年に比べ、約522億円の増加~

観光消費額	H19年(億円)		H18年(億円)		対前年	
	金額	構成比	金額	構成比	増減	増減率
宿泊	1,495	33.5%	1,381	35.1%	114億円増	108.2%
日帰り	2,966	66.5%	2,558	64.9%	408億円増	116.0%

観光消費額推移 単位:億円

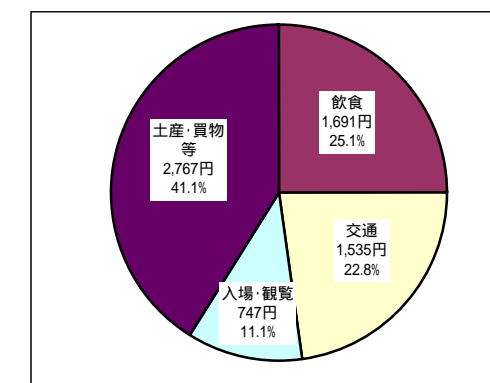


宿泊客の平均観光消費額の内訳



合計: 23,734円

日帰り客の平均観光消費額の内訳



合計: 6,740円